



2002年度中間期決算説明会


第1部 決算概況

第2部 電子部品物流の事業展開

第3部 流通サービスの事業展開

2002年11月8日

株式会社 **エヌエスエス**



第1部

決算概況

連結 決算ハイライト(中間期)

(単位:百万円)

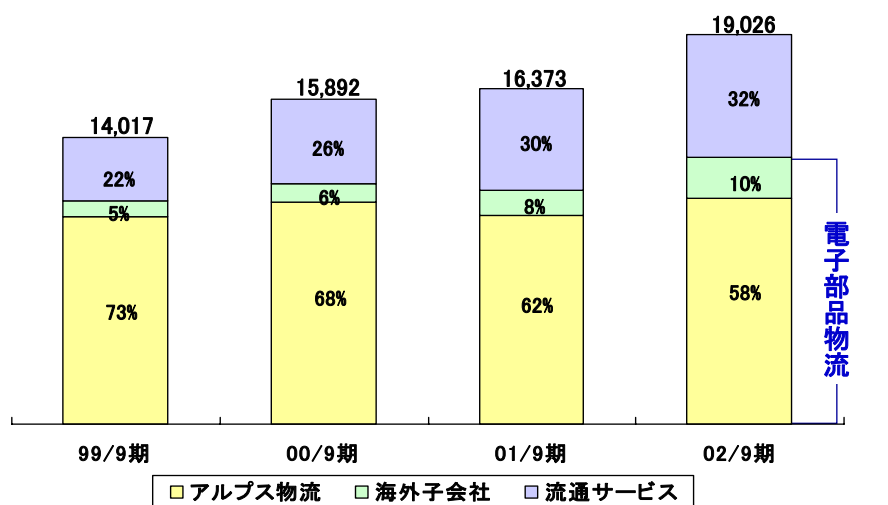
	00年9月中間期	01年9月中間期	02年9月中間期
売上高 〔伸び率〕	15,892 〔13.4%〕	16,373 〔3.0%〕	19,026 〔16.2%〕
営業利益 〔伸び率〕 (営業利益率)	1,413 〔4.4%〕 (8.9%)	1,385 〔△2.0%〕 (8.5%)	1,773 〔28.0%〕 (9.3%)
経常利益 (経常利益率)	1,396 (8.8%)	1,374 (8.4%)	1,732 (9.1%)
中間純利益 (中間純利益率)	826 (5.2%)	684 (4.2%)	990 (5.2%)

(伸び率は対前年同期増減率)

株式会社アルプス物流

連結 売上高構成表(中間期)

(単位:百万円)



株式会社アルプス物流

単独 決算ハイライト(中間期)

(単位:百万円)

	00年9月中間期	01年9月中間期	02年9月中間期
売上高 〔伸び率〕	10,956 〔7.1%〕	10,214 〔△6.8%〕	11,233 〔10.0%〕
営業利益 〔伸び率〕 (営業利益率)	1,133 〔5.5%〕 (10.3%)	784 〔△30.7%〕 (7.7%)	1,029 〔31.2%〕 (9.2%)
経常利益 (経常利益率)	1,169 (10.7%)	806 (7.9%)	1,077 (9.6%)
中間純利益 (中間純利益率)	735 (6.7%)	441 (4.3%)	607 (5.4%)

株式会社 伊藤元利

連結 通期計画

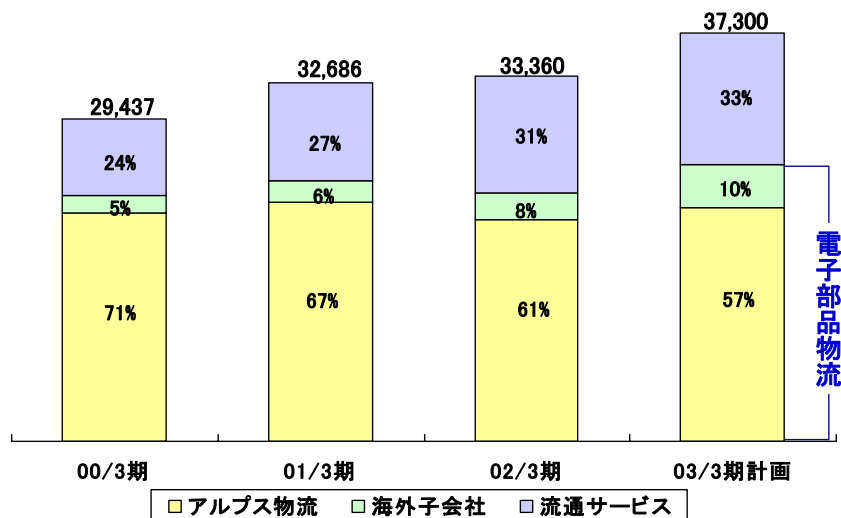
(単位:百万円)

	01年3月期	02年3月期	03年3月期 計画	03年3月期内訳	
				上期	下期
売上高 〔伸び率〕	32,686 〔11.0%〕	33,360 〔2.1%〕	37,300 〔11.8%〕	19,026 —	18,274 —
営業利益 〔伸び率〕 (営業利益率)	2,908 〔0.4%〕 (8.9%)	2,718 〔△6.5%〕 (8.1%)	3,200 〔17.7%〕 (8.6%)	1,773 — (9.3%)	1,427 — (7.8%)
経常利益 (経常利益率)	2,881 (8.8%)	2,692 (8.1%)	3,150 (8.4%)	1,732 (9.1%)	1,418 (7.8%)
当期純利益 (当期純利益率)	1,619 (5.0%)	1,319 (4.0%)	1,650 (4.4%)	990 (5.2%)	660 (3.6%)

株式会社 伊藤元利

連結 売上高構成表(通期計画)

(単位:百万円)



株式会社 伊藤ハイクラス

単独 通期計画

(単位:百万円)

	01年3月期	02年3月期	03年3月期 計画	03年3月期内訳	
				上期	下期
売上高 〔伸び率〕	22,006 〔4.8%〕	20,335 〔△7.6%〕	21,500 〔5.7%〕	11,233 -	10,267 -
営業利益 〔伸び率〕 (営業利益率)	2,163 〔△0.4%〕 (9.8%)	1,565 〔△27.6%〕 (7.7%)	1,800 〔15.0%〕 (8.4%)	1,029 - (9.2%)	771 - (7.5%)
経常利益 (経常利益率)	2,223 (10.1%)	1,640 (8.1%)	1,850 (8.6%)	1,077 (9.6%)	773 (7.5%)
当期純利益 (当期純利益率)	1,327 (6.0%)	859 (4.2%)	1,000 (4.7%)	607 (5.4%)	393 (3.8%)

株式会社 伊藤ハイクラス

1株当りの配当

◆上期の増収増益を受け、1円50銭の増配を実施

◆通期ベースで3円の増配を計画

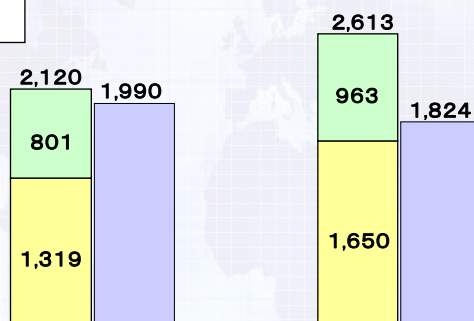
	2002/9 中間配当金	2003/3 期末配当金	2002年度 年間配当金
今回修正	7円50銭	7円50銭	15円
前回予想	6円	6円	12円
前期実績	6円	6円	12円

株式会社 伊藤ハチマキ

連結 キャッシュフローと設備投資

■ 減価償却費
■ 当期純利益
■ 設備投資額

(単位:百万円)



	02/3期	03/3期計画	
横浜倉庫増築	818	広東倉庫新設	52
大阪倉庫増築	267	上海倉庫増築	300
流通サービス車両購入	300	騎西土地取得	560
		流通サービス車両購入	419

株式会社 伊藤ハチマキ



第2部

電子部品物流の事業展開

- ◆事業環境認識
- ◆事業方針
- ◆事業戦略



事業環境認識

- ◆景気動向
- ◆電子部品物流軌道の変化
- ◆顧客動向

株式会社 伊藤ハイクラス

景気動向

ITバブルの崩壊
世界の株安

↓

下期は先行不透明
厳しい環境を覚悟

株式会社 **アパックス**

電子部品物流軌道の変化

生産拠点の中国シフト加速

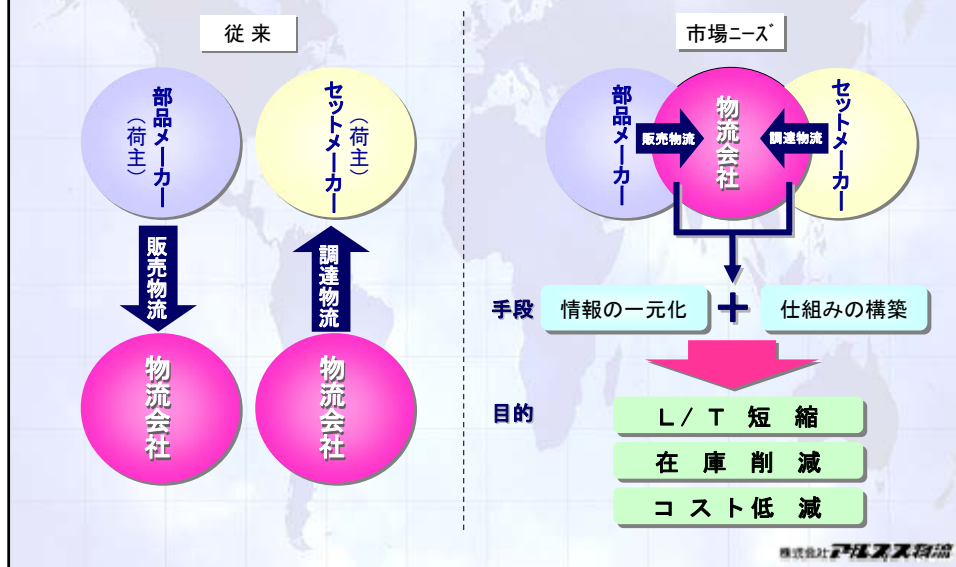
↓

電子部品の物流軌道 中国が主流

株式会社 **アパックス**

顧客動向

SCM思考による物流革新ニーズの高まり

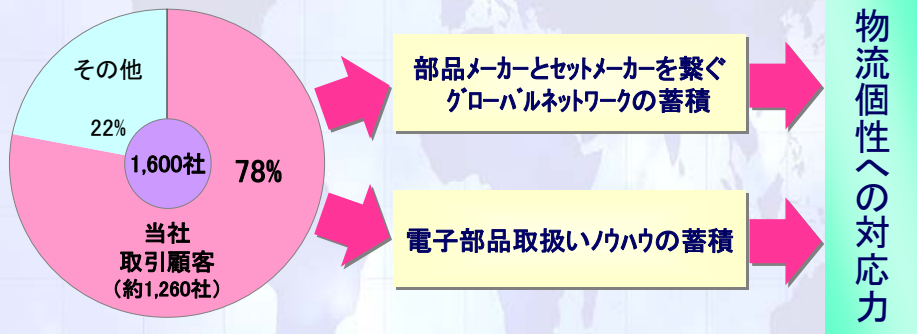


事業方針

電子部品をベースとした総物流事業を展開し、
グローバルでの業容の拡大を目指す

なぜ電子部品物流に特化か

電子部品業界における **多くの取引実績**

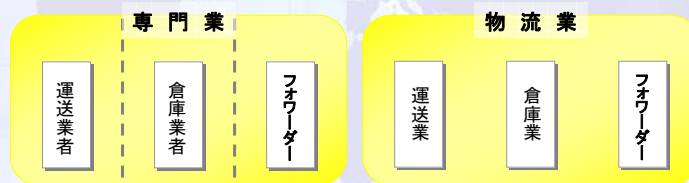


株式会社 伊藤ハヤシ物流

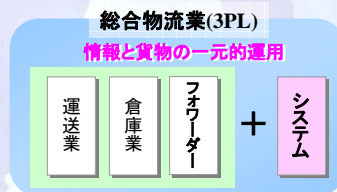
なぜ総合物流か

物の流れのトータルマネジメントによるサービスの提案

<一般的な物流業態>



<当社の総合物流業態>



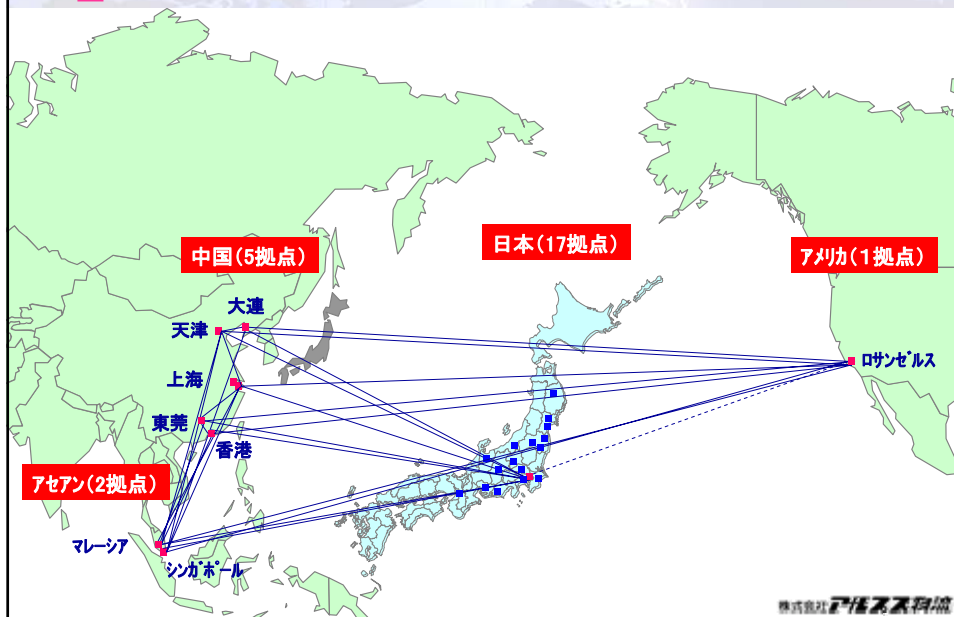
株式会社 伊藤ハヤシ物流

事業戦略

- ◆グローバル物流拠点
及び輸送ネットワークの整備拡充
- ◆フォワーディングサービスの強化
- ◆SCMニーズへの対応強化

株式会社アネックス物流

グローバル物流拠点及び輸送ネットワークの整備拡充



海外物流拠点整備計画

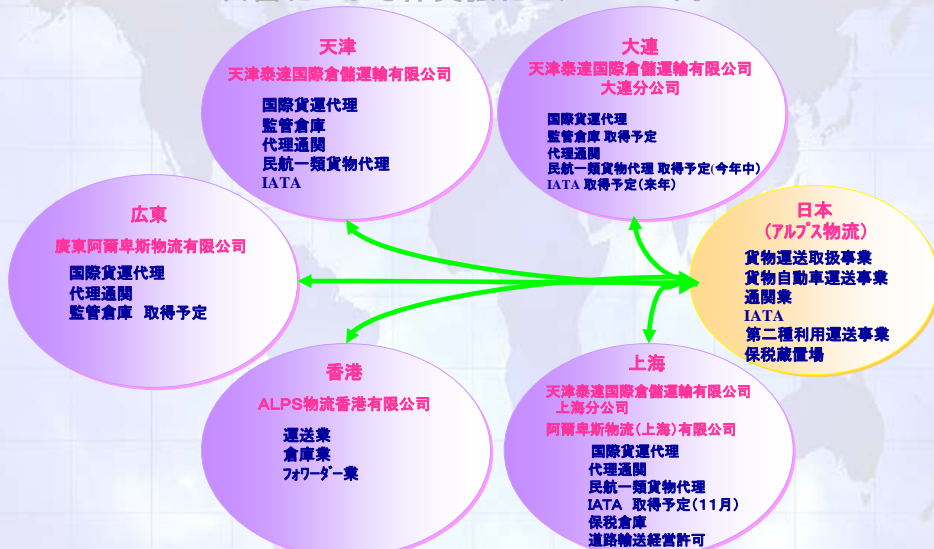
- 1) アルプス物流(上海)有限公司 倉庫増築
- 2) 上海東軟時代物流軟件有限公司設立
中国における物流関連ソフト開発、販売、コンサルティング事業
- 3) ALPS LOGISTICS (USA), INC. 設立



株式会社アルプス物流

フォワーディング事業の強化

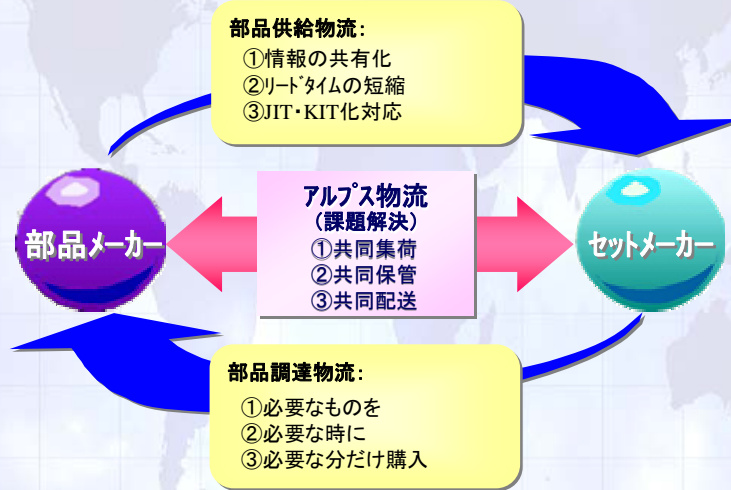
自営化による体質強化とサービスの向上



株式会社アルプス物流

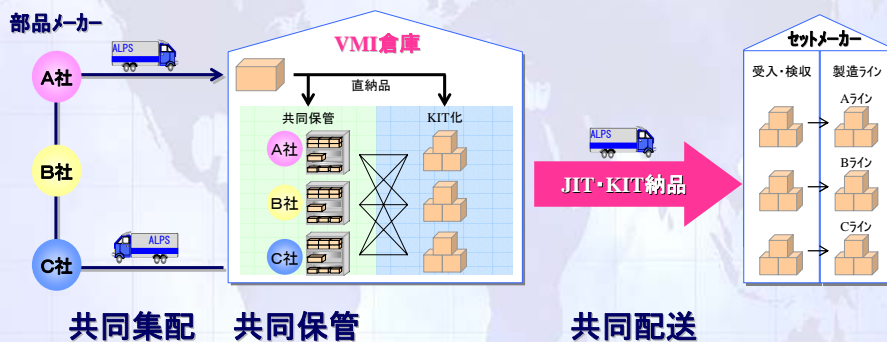
SCMニーズへの対応強化

部品メーカー & セットメーカー双方のニーズに応える物流コンセプト
 — メーカー思考の提案型物流 —



株式会社アルプス物流

部品メーカー & セットメーカーの物流合理化例

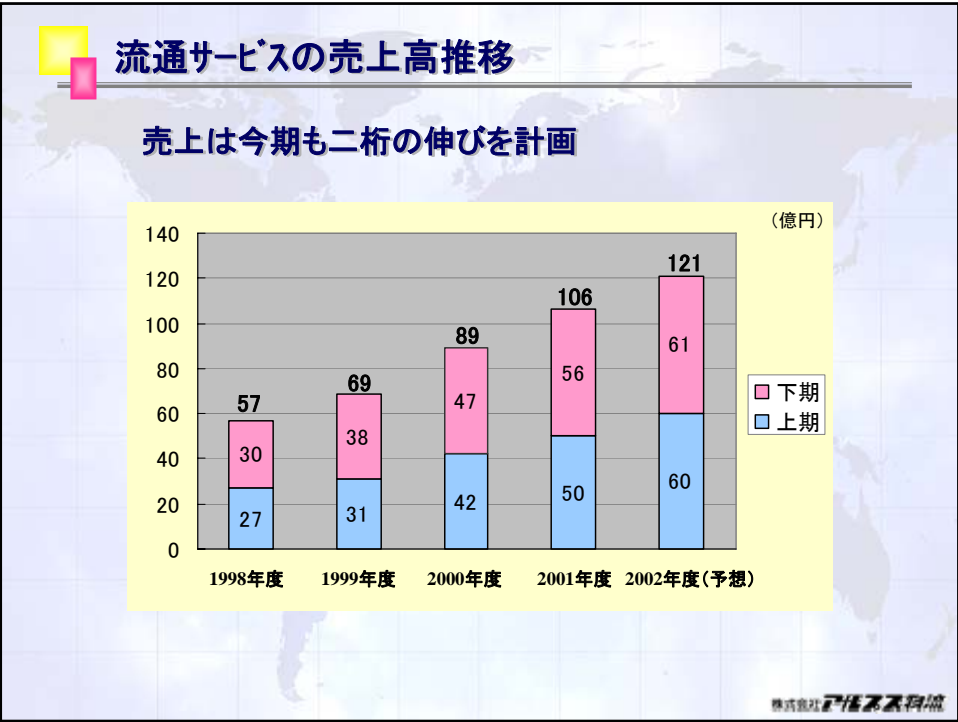


株式会社アルプス物流

第3部

流通サービスの事業展開

- ◆ 売上高推移
- ◆ 事業方針
- ◆ 事業概況





事業方針

消費物流分野に特化して
総合物流事業体制を構築する

- ・生協向ビジネスを主体としたビジネス展開
- ・24時間365日稼働体制
- ・多品目、多頻度、小口配送対応

株式会社 伊藤ハヤシ物流



事業概況

●流通加工(庫内作業)と個配(個別配送)が強み

- ・流通加工技術(デジタル・ピッキング・システム)
- ・配送等車両台数……約700台

●全国規模への展開

	01/3現在		02/9現在
流通加工拠点	20拠点		24拠点
個配センター	26拠点		36拠点
計	46拠点		60拠点

●騎西第2物流センターを構想中

株式会社 伊藤ハヤシ物流